

教育大綱の改定（案）について

1 報告事項

(1) 構成



(2) 太字部分は前回会議からの修正箇所 ※パブリック・コメント実施の際に反映済

修正箇所	資料2 ページ	前回	修正後
基本理念	8	こうした中、次代を担う子どもたちが、先行き不透明な時代を生き抜くために「自ら学び、考え、判断し、行動する能力」を身に付けることが求められています。 さらに、 <b>他者と協調し、思いやりや感動する心と、たくましく生きるための健康や体力を兼ね備えた「生きる力」</b> をしっかりと身に付けることが必要です。	こうした中、次代を担う子どもたちが、先行き不透明な時代を生き抜くために「 <b>自ら学び、考え、判断し、行動する能力</b> 」を身に付け、 <b>コミュニケーション能力を養うこと</b> が求められています。 さらに、 <b>思いやりや感動する心と、たくましく生きるための健康や体力を兼ね備えた「生きる力」</b> をしっかりと身に付けることが必要です。
基本方針1	9	社会の変化に対応できるよう学校の教育力の維持向上のために、 <b>学習環境を整備していきます。</b>	社会の変化に対応できるよう学校の教育力の維持向上のために、 <b>教育環境を整備します。</b>
基本方針6	9	地域の伝統文化に関する <b>活動支援の充実を図るとともに</b> 、文化財の保存・活用を推進します。また、学校や地域において、誰もが文化や芸術に触れ合い、親しむことができるよう <b>施設の充実にも努めます。</b>	地域の伝統文化に関する <b>活動を支援し活性化を図るとともに</b> 、文化財の保存・活用を推進します。また、学校や地域において、誰もが文化や芸術に触れ合い、親しむことができるよう <b>機会の充実を図ります。</b>

※基本方針2から基本方針5は、前回会議から修正なし、または語尾の調整。

2 協議事項 ※パブリック・コメントの意見への対応方針（全体4件、うち教育大綱1件）  
令和6年1月10日から2月8日に実施したパブリック・コメントの意見の要約

意見箇所	資料2 ページ	意見の要約
全体	—	教育大綱の未達成の課題と達成度を明記すべきではないか。
序論	4	「2教育を取り巻く環境」の「(1)人口減少と少子高齢化」で少子化に触れていない。
基本方針2	9	「人権感覚」とシンプルに表現しているため、「人としての尊厳と人権感覚」と修正してはどうか。 「多様性を認め合う社会の実現」とシンプルに表現しているため、「ジェンダーの解消、国籍、障がい、LGBTQ等、生活スタイルなどの多様性」など、具体的な記述の方がわかりやすいのではないか。
基本方針6	9	本市は地域の歴史を掘り下げていない現状があると思われるため、「地域の歴史や成り立ちについての研究や実検証の充実」などの文言を「文化財」の前に追加したほうがいいのではないか。
基本方針 その他	—	「開かれた教育委員会」の方向性として、基本方針7の追加の検討を求める。

3 今後のスケジュール

